

社協だより

令和2年10月1日

第192号

編集

社会福祉法人

江南市社会福祉協議会

江南市古知野町宮裏121番地

(老人福祉センター内)

TEL・FAX(0587)55-5262

江南市初! 地域住民による買い物支援が始まりました!



みんなで行きいき♪ショッピング



私たちがサポートしています!

宮後中区買物支援事業協議会の方々

江南市で初めて、地域住民による買い物支援が始まりました。
宮後中区在住で、移動手段が限られて困っている方を対象に、宮後中区の協力者による運転で、社会福祉協議会(以下、社協)の車両を活用し、アピタ江南西店まで送迎を行います。
この活動は、宮後中区の方々が地域の困りごとを話し合った結果、生まれました。
今回は、買い物支援を通じた支え合い活動について紹介します。

おもな内容

- わが町の生活支援コーディネーターが行く..... 2、3ページ
- 新たなつながり活動報告 ～社協つながりプロジェクト報告～ 4ページ
- もっと、もっとボランティア..... 5ページ
- 赤い羽根共同募金、ボランティア活動保険のおける新型コロナウイルスの取り扱い改定について..... 6ページ
- 社協掲示板..... 7ページ
- 登録ホームヘルパー募集、福祉クイズ、寄付..... 8ページ

地域住民の声から生まれた支え合い活動

「宮中いきいきショッピング」編



わが町の生活支援コーディネーターが行く

(第7回) 地域で広がる生活支援 編

地域には近所付き合い、支え合い活動、伝統行事など様々な取り組みが行われています。生活支援コーディネーターが地域の活動で「ちょこっと」お手伝いした取り組みを紹介します。

宮後中区はどんな地域？

食品を買うにも徒歩で約15分、衣服などの生活用品を買うとなると徒歩で約35分かかる地域です。

そのため、車などの移動手段が無くなると買い物先に困り、閉じこもりになりやすい地域だという認識が宮後中区の地域住民に広く根付いていました。



こうした状況の中、宮後中区の区長、民生委員、老人クラブの会長などが集まり、地域の困りごとについて話し合う機会がありました。(古東地区地域ケア推進会議)

この地域はやっぱり買い物で困っている人が多いようだ。

閉じこもりを防止していきたいなあ。

車の事故とか、何かあった時の保険がないとやれないよ…。

やっぱり、買い物先への送迎が必要じゃない？

運転なら協力できるよ！



生活支援
コーディネーター

社協に移送車両があり、保険も対応できますよ。ただ、運転できるボランティアさんが居なくて…。運転のご協力をお願いできればいいのですが…。

大型スーパーまで送迎する地域住民同士の支え合い活動が生まれました!

話し合いの結果、「宮後中区買物支援事業協議会」が立ち上がり、月2回、社協の移送車両を活用し、アピタ江南西店まで送迎する買い物支援「宮中いきいきショッピング」が始まりました。みんなで行くことで、買い物だけでなく、日々の楽しみや閉じこもり予防にもつながっています。



自宅近くまで送迎してくれるから、たくさん買えて助かるわ。



買い物の後はみんなでお茶会♪



みんなで話もできて、小旅行に行ったみたい♪



【生活支援コーディネーターからの一言】

活動日に同行した際、買い物袋2袋いっぱいを買われた参加者がみえました。その方は一人暮らしをしているそうですが、とても多い量だったため尋ねると「週末には息子が家に来てくれて、お礼に食材をあげるから半分になっちゃうんだわ」と笑顔で話されていました。

このような支え合い活動が地域に広がることを願いながら、今後もサポートしていきます。

お問い合わせ先
江南市社会福祉協議会
TEL・FAX 55-5262

食事会からお弁当形式に 「多文化わいわいプラザ」編



多文化わいわいプラザとは？

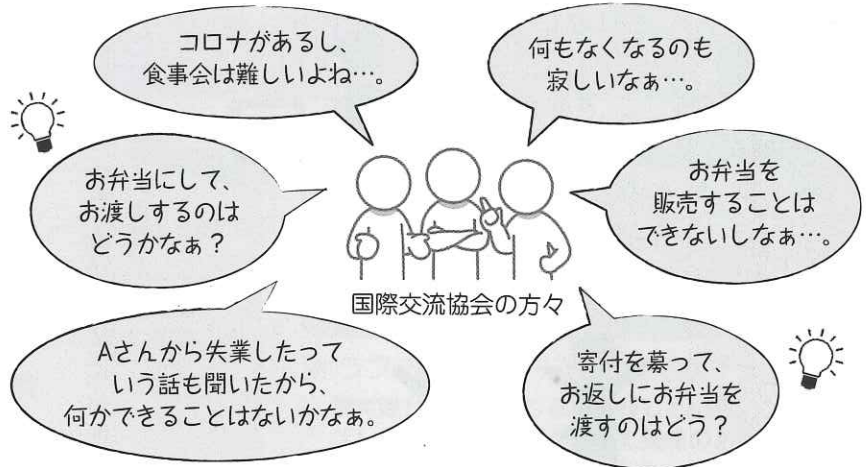
江南市国際交流協会が運営。社協に登録している地域の居場所づくり活動のことで、これまで外国料理を介して、多国籍の方々が交流する場として食事会を開催していました。

しかし…

新型コロナウイルス感染症の感染防止の観点から、状況は一変し、大勢が集まって食事会をする形式を避ける必要がありました。

普段から関わりある国際交流協会の会員の方から、失業し困っているとの相談も入っていました。

この状況下で、自分たちでできることはないか？と考えたところ…。



失業した方のために寄付を募り、お返しにお弁当を！

新型コロナウイルス感染症により失業した国際交流協会の会員の方を支援するために、事前にFacebookで寄付者を募り（一口500円）、当日寄付金のお返しとして、これまでの食事会で外国料理をふるまっていた方々と協力し、手作りのお弁当をお渡しする「わいわいプラザ支援プロジェクト 世界のお弁当」が立ち上がりました。

7月に行われた3回目では、つながりのあった市内のインド料理店のお弁当作成・配布の協力もあり、寄付の申し出のあった計80口分の手作りのお弁当をお渡しすることができました。



お昼に間に合うよう
朝早くから準備に
奮闘！



▲フェイジョン弁当
(ブラジルの豆料理)



▲ネパールカレー弁当



お久しぶり！
最近どうですか？

お弁当をお渡しする際に、顔を合わせる機会になっています。

最近、海外行けないからなあ…。

集まった寄付金は全額、その日支援する会員の方にお渡しし、当面の生活費に活用されています。



【生活支援コーディネーターからの一言】

支援を受けられた方にお話を伺ったところ、子どもが生まれた矢先、失業してしまったそうです。今後の不安が募る中で、気にかけてくれる存在は大きかったと話されていました。この活動を支援している方からは「普段から日本に貢献してくれている方々に、大変な時こそ何か恩返しができる」と話されていました。

江南市国際交流協会の会員の人たちのパワーと、人と人とのつながりから生まれる温かさを実感することとなりました。

お問合せ先
江南市国際交流協会
ふくらの家
TEL 56-7390
江南市社会福祉協議会
TEL・FAX 55-5262

「新たなつながり」活動報告

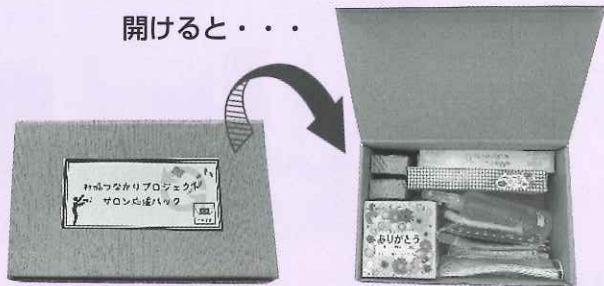
新型コロナウイルス禍の中、多くの方々に協力いただいた「社協つながりプロジェクト」の活動の取り組みを紹介します。

「ご寄付いただいたものを詰め合わせた、「サロン応援パック」をお届け！」

地域の居場所活動（ふれあいサロン）は、コロナ禍の影響により、多くの活動が一時休止になっていました。活動に向けて、感染予防対策を行い、マスクの着用や手洗い、体調確認などの感染予防対策を行っています。社協では、サロン活動の後押しになるように、多くの方からいただいた寄付を詰め合わせた「サロン応援パック」を準備し、活動するサロンへ順次、生活支援コーディネーターが届けています。

寄付いただいたものが各サロンに届き、「新たなつながり」が生まれるとともに、活動の後押しや応援へとつながっています。

開けると・・・



寄付いただいた「マスク」や「アルコール消毒液」など、感染対策を行いながら活動するサロンを応援！！



寄付いただいたものを生活支援コーディネーターが詰め合わせ



サロンへお届け！
「みなさまからの寄付です！」

みなさまからの寄付が、



サロン活動を支えています！！

「ふれあいサロン」へのお届け様子



ほのぼのサロン（古知野地区）



3R宮田サロン（宮田地区）



木曜サロン（宮後上区）

社協つながりプロジェクトって？

サロン団体などへ「自宅で出来ること」をテーマに、家庭菜園の野菜の寄付、布マスクの作成などにご協力いただいたプロジェクト！！

現在も福祉センター内に、「マスク寄付BOX」を設置しており、活動継続中です！

【生活支援コーディネーターからの一言】

各サロンからは、「マスクなどが不足していたので助かった」、「感染予防対策で活用したい」など、多くのありがとうメッセージをいただきました。状況が変わる中、試行錯誤しながら地域のつながりづくりを行うふれあいサロンの活動を社協としても支援していきたいと思っております！

※この他にも多くの方々に協力を頂いています。地域の「新たなつながり」については、江南市社協ホームページ「ブログ」にて紹介しています。ぜひご覧ください（<http://www.konan-shakyo.or.jp>）

（手作りマスクなどを詰め合わせたサロン応援パックお届け編）